

# 令和4年度第2回和光市公民館運営審議会会議録(要録)

開催日	令和5年3月28日(水)	開会時間	13時30分			
会場	中央公民館 会議室1	閉会時間	15時10分			
委員の出欠状況	柴崎隆史	欠	富澤勝	出	大塩敬子	出
	渡邊丈裕	出	高田桃子	出	泉常夫	出
	高橋とよ子	欠	岸佐登美	欠	鈴木紘子	出
	田中壽美子	出	田中章子	出	河村佳奈	欠
	上原あすか	出	柳下創	出		
傍聴者	0名					
事務局	石川教育長、寄口教育部長、亀井生涯学習課長、山本生涯学習課長補佐、大野館長、川辺館長、長峰館長、畑中主査、中野主査、藤田主事					
議題	(1) 令和5年度和光市教育行政アクションプランについて (2) 令和5年度和光市公民館事業計画(案)					

○事務局 <市民参加条例第12条第4項の規程による会議公開及び要点記録による会議録の公開等についての説明>

○教育長 <石川教育長あいさつ>

○事務局 それでは、和光市公民館設置及び管理条例施行規則第10条第2項の規定により、会議の進行を議長にお願いいたします。田中(章)議長、よろしくお願いいたします。

○田中(章)議長 <田中(章)議長あいさつ>

ただいまから、令和4年度第2回和光市公民館運営審議会を開催いたします。はじめに、本日の委員の出席状況について事務局より報告をお願いします。

○事務局 報告いたします。本日の出席人数は、10名です。なお、柴崎委員、岸委員、高橋委員からは、欠席の連絡を頂戴しております。河村委員に関しましては、連絡はいただいておりますが、現時点でお見えになっておりませんので、本日の出席人数は、10名です。

○議長 事務局から報告がありましたように、委員定数14名のところ、10名の委員の出席をいただいております。和光市公民館設置及び管

理条例施行規則第11条第2項に定める開催要件の過半数を超えておりますので、本日の会議は成立しております。

なお、議事に入る前に、今回の審議会の会議録の署名人の指名をさせていただきます。

上原委員、富澤委員にお願いしたいと思います。傍聴者はありません。

それでは、議題事項について審議してまいります。

議題（１）「令和５年度和光市教育行政アクションプランについて」事務局より説明をお願いします。

○生涯学習課長 議題（１）「令和５年度和光市教育行政アクションプランについて」資料を用いて説明

○田中(章)議長 議題（１）の説明につきまして、ご質問のある方がいらっしゃいましたらお願いします。

○泉副議長 施策２「社会教育施設の充実」に関してですが、現在、各公民館の建物がかなり古くなってきています。建物の改修の考え方をご説明ください。

○生涯学習課長 泉副議長おっしゃる通り、中央公民館についても２６年経過し老朽化してきていると感じており、予算確保には努めているところですが、市の予算は全体のバランスを見て配分されていますので、なかなか難しい状況であります。その中でもWi-Fiの設置や調理室のコンロの交換など、また中央公民館では温水洗浄便座の設置、雨漏りしている体育館の設計業務委託を行いまして、再来年度に工事ができればと考えております。また各館には、緊急修繕用の予算を確保しておりますので細かい部分の修繕は行っていけると考えております。ただ長期的に見てしっかり計画を立ててやっていかないと大きな予算ですので難しいのではないかと考えておりますので、財政課と協議しながら引き続き予算の確保に努めてまいりたいと考えております。

○泉副議長 公民館は、地域の方達が来て心地よく利用するのが基本だと思っています。実際に各公民館、コロナの影響やエネルギー危機だとか、そういったことで入口が暗いなど散見してるのかなと思っています。入口は最初のとっかかりなので、やはり明るい方が良いのです。部分照明にするとか、人が入りやすくするというのが基本だと思いますので、考えていただければと思います。

○田中(章)議長 施策1(3)「社会教育と学校教育・家庭教育の連携を推進」と記載されています。公民館で活動している方に学校から依頼が来まして、私自身も書初めで行きました。特別支援学級でやらせていただき、こうしたふれあいはとても良いことだと思いました。他にどのようなことをやられたのか教えてください。

○生涯学習課長 田中議長のお話は地域協働教育活動であります。書初めの他に、7事業ありました。白子小学校では4年生以上の児童が参加するクラブ活動支援を行いました。室内遊びクラブでは将棋の遊び方、料理手芸クラブではミシンを利用した作品制作などの支援を、公民館を利用されている方に年3回やっていただきました。田中議長の仰った書初めについては、大和中学校からの依頼で昨年11月から特別支援学級で3回支援を行っていただきました。また第五小学校の1年生の生活科の授業支援ということで、植物を育て命の大切さや花が咲く喜びなど豊かな心を育むことを目的に行いました。以前は先生が教えていたのですがすごく詳しいという訳ではありませんので、詳しい方に指導していただいた方がより効果大きいということで、ゲストティーチャーとして公民館利用団体の方が訪れて直接、植物の育て方などの指導していただいたということもありました。これからも公民館利用者にお声をかけさせていただきご支援いただきたいと思いますと考えております。

○田中(章)議長 私も初めは特別支援学級のお子さんと聞いて大丈夫かなと不安に思う気持ちもありましたが、やっていく中で子ども達も支援する私達もフレンドリーになりとても良い時間が流れましたし、良いふれあいの経験にもなりました。これからも公民館で活動されている方、知識のある方がどんどん積極的に支援し、そういう時間を作っていくことはとても良いことだと思いますので今後も頑張っってやっていこうと思います。この支援がやりっ放しにならないよう反省会なども行くと、皆さんがどのようなことをやられているのかが分かると思いますのでよろしくお願いします。

○生涯学習課長 今後、地域学校協働本部だよりを作成し報告してまいりますので、しっかりこの活動を周知していきたいと考えております。また公民館では利用者研修会でこの活動を周知し、今後、ご協力いただける方を募っていきたいと考えております。

○田中(章)議長 地域の方が地域の方へ還元していくことはとても良いことですし大切なので、これからも続けていってください。では次に議題(2)

「令和5年度和光市公民館事業計画について事務局から説明をお願いします。なお質問については説明後にまとめてお受けいたしますので、よろしくお願いします。

○事務局 議題(2)「令和5年度和光市公民館事業計画について」資料を用いて、各公民館長から説明

- ①令和5年度三館共催事業 …「資料1」
- ②令和5年度中央公民館事業計画 …「資料2」
- ③令和5年度坂下公民館事業計画 …「資料3」
- ④令和5年度南公民館事業計画 …「資料4」

○高田委員 三館共催事業「サークル体験フェスタ」は合同でやるのですか、それとも各館でやるのですか。令和4年度は各館でやられたので、令和5年度はどうなるのか教えてください。

○南公民館長 コロナ禍前までは中央公民館を会場として、各館の方が集まり集中開催という形で開催していました。そして2年、サークル体験フェスタは中止となっていました。令和4年度を開催するにあたりましてはアンケートを取りましたところ、利用団体の方から「中央公民館まで出向くのが難しい」等というご意見を多数頂戴し、コロナ禍でもあるため、令和4年度はそれぞれの公民館で実施しようということになりました。そして2月から3月にかけてそれぞれの館で行いました。すでに中央と坂下につきまして終了しておりますが、南公民館は3月30日までとなっています。これが終了した後、参加団体にアンケートを取りまして、今後どのように開催していくのが良いのか、検討してまいりたいと考えていますので、現時点での開催の方法は未定です。

○田中(章)議長 令和5年度のサークル体験フェスタの開催方法は未定ということですが、よろしいですか。

○高田委員 未定ということで、分かりました。

○富澤委員 三館共催事業計画の中で記載のある「現代的課題」とは具体的にどんなことか。親子講座や地域課題講座の学習内容に記載があるので教えてください。

○南公民館長 親子講座については、スマホでのトラブルや事件などニュースになっているようなものや親子間でのスマホのルールの問題などです。ま

た地域課題については、各公民館それぞれ地域性もありますので、その地域でどういったことが課題になっているのかなど、公民館を利用する方や地域学校協同本部などでも聞き取りし情報収集して、それに向けた講座を検討してまいります。

○坂下公民館長 三館共済事業については、それぞれの講座に各公民館から担当者が決まっていますので、どういった課題が一番適当であるかを協議して行ってまいります。

○南公民館長 令和3年度の親子講座については、スマホのルールについて開催する予定でしたが、新型コロナの感染が拡大してきてことで中止になった経緯があります。スマホのルールを親子だけで作ると喧嘩になってしまい上手くいかないということもあり、参加者同士で話をしたりする中で色んな考え方も学べたりしますので、先ほどは例として挙げさせていただきました。

○高田委員 中央公民館事業計画の1少年・親子対象事業の7中高生と考える地域課題教室ですが、万全の告知をしても参加者は集まるのかなという感じがあるので、心づもりとしてサークル活動をしている対象者がいるとか、何か集める対象とか心あたりはありますか。

○中央公民館職員 高校生についてはどのくらいの人数が集まるかは未定ですが、中学生については私が市内の中学生数十名に、公民館のような行政とブランニングのようなことをしてみたいですかとか、市の発展になることがしたいですか、といった質問をしてみたところ、多くの学生からやってみたいという話がありましたのでふたを開けてみないと分からないところではありますが、一定の需要があると考え計画をしました。

○田中(章)議長 私も最初、中学生って怖いのかなと思いながら行ったのですが、みんなちゃんと挨拶も出来るし、すごく礼儀正しいし、本当に良い子達に出会えました。そういう子達が地域の人達と何かやりたいと言われたら、どんどん進めてほしいし実際にやっていただきたいと思いました。

○高田委員 今話を伺って、きっかけや仕掛けを作ってあげるといいのかなと思いました。良い環境を作ってあげたいですし、こちらもいただくものもあると思います。

○大塩委員 南公民館を利用しています。サークル体験フェスタを長期間やられ

ていて、サークルの方も努力され公民館の方もすごく準備されていると感じていますが、やっている人と見に来る人が循環されていないとか、せっかくサークルを紹介したい人達が準備をしているのに新たに公民館に足を運ぶ人が本当は来てほしいのになかなか難しいなど感じています。しかし今、話を聴いていて、役所の方には荒唐無稽と仰るかもしれませんが、南のヤオコーではエスカレータの下に公民館のラックで情報を置けたりすると公民館まで足を運ばないお年寄りの人にも見ていただけて、行ってみようかなと思っていただけたらいいのではと思いました。

南公民館長

確かに民間の企業については行ってお願いしてみないと分からないので、サークル体験フェスタを開催するにあたり近くに諏訪原団地と南大和団地がありますので、諏訪原団地の管理組合にお願いしポスターとチラシを掲示しました。また、敷地内にある掲示板5カ所にポスターを設置したこと、諏訪原団地にお住いの利用者の方にチラシを渡し、ご近所に声を掛けさせていただくようお願いしました。あと市内循環バス内にチラシを掲示しましたが、確かにそれだけでは見学に来ていただけてないということですので、今後、皆さんがよく行く場所なども検討し、お邪魔できる所はポスター掲示等を依頼してみたいと思います。

○泉副議長

全体をとおして課題という言葉が入っています。例えば、地域の課題ですとか、青少年の課題ですとか、色々な課題があるのですが、公民館としてそれをどう捉えているのか、課題とは何か、今、課題は何かなんて言ってましたら今年も終わってしまいますから。

事業計画はあくまでも計画であって、具体的にどういうことをやっていくのかが抜けていると思うのです。例えばスポーツ教室がどんなスポーツを対象にしてやるのか、具体的にお聞きしたいと思います。計画ですから目指すところがあると思うのです。

○中央公民館長

公民館は地域課題を解決する場であると考えております。中央公民館では高齢者の健康維持、子育て世帯の地域交流、防犯対策、この3点を挙げて計画をさせていただいております。2点目のどういうものをするのかについては、昨年はバレーボールをやれさせていただきましたが、何かをやるには人・モノ・金がないと出来ません。人が決まらなないと出来ない、お金がないと出来ない、とどうしても3月議会で予算が承認され、人事異動で職員が決まらなないと担当も決定しない、そういうことがありますとなかなか前に進まない。ですので4月5月は講座の予定はございません。早くても6月からの開催となりますので

で、講師との打ち合わせなども4月に入ってからということになります。

つきましては申し訳ありませんが、何をやるかは未定でございます。

○坂下公民館長

人づくり・つながり・地域づくりが公民館の役割と同時に地域を作っていくということが課題だと考えています。それを目的に講座を計画したところでございます。具体的に何をやるかについては、資料3を見ていただきますと、例えば1卓球教室ですとか、3じゃがいも掘りは名称を見ていただければ何をやるかすぐに分かります。今年度で実施したことで申し上げますと、7子ども教養講座ですが、ここでは月食を観測する講座やプログラミング教室をやっております。このように見ただけでは内容がわかりづらい講座もありますが、担当がおりますのでその時々の人気がありそうなものを選びましてこれから計画していくということでございます。この枠はあくまでも大枠でありまして、その中で何をやっていくのかその時々で検討して実施していくという形になっております。

○南公民館長

課題については南公民館の事業計画の中でいくつか取り込んでおりました、実際に公民館の利用者のご意見をいただいたり、会話をする中で聞き取りをしたこともあります。その中で三館共通なのですが、やはりスマホ教室です。和光市においてもLINEで申請が出来る、キャッシュレスが出来るなど、携帯電話がどんどん進化しています。携帯を持っていて電源は入れられるけど電話に出られなくてすごく困っているという話もありました。この3月に各公民館でスマホ教室を行い、申込は多くありました。定員は出来る限り少なくし一人一人しっかり学べるよう開催いたしました。

また、南公民館については実際のところ、和光市の地域の歴史についてなかなか学ぶ機会が少ないという話もいただいています。南公民館から歩いて5分くらいには和光市の文化財保存庫があり、昨年度からそういうご要望に答えまして、令和4年度は歴史講座という形で、越後山遺跡の話や文化財保存庫を実際に見学する内容をやりました。

今、南公民館では越後山遺跡の土器なども飾らせていただいておりますが、やはり地域の歴史を学ぶ機会をご提供出来ればと考えております。また親子で一緒に体験をしたいという話もあり、ボーイスカウト団の方にご協力をいただいて野外調理講座をやりました。なかなか全ての要望にお答えするのは難しいのですが、開催が可能なものについてはすぐに開催が実現できるようやらせていただいております。事業につきましては一部どうしても抽象的になってしまいますが、出来る限り書かせていただきます。計画はあくまでも計画ですので内容が変

更となることも当然ありますし、講師との兼ね合いで実際に出来なくなることもあります。その場合、代替りの内容の用意して実施していきたいと考えております。また、現代的課題につきましては、公民館にいただけではなかなか情報も入って来ませんので、令和5年度から公民館サロンという形で書かせていただきましたが、地域の方が気軽に来ていただきお茶を飲みながら体操をしたりとか何かを学ぶものを身に付けて、学ぶことや、実際に皆さんから話を聞いて何か困っていることなど、情報を吸い上げる形で今後公民館の事業計画に加えていきたいと考えております。

○生涯学習課長

公民館全体にどのような方向性を持ってやっていくのか、公民館はどういうところなのかと考えると、今回立ち上げた地域学校協働本部が重要な役割を果たしていくのかなと考えています。公民館三館にこの地域学校協働本部は拠点を置いておりますが、3中学校区ありますので各公民館に拠点を置いて進めております。実際、若い人が公民館に足を運んでいただけてないということで、今、南公民館では第五小と連携し子ども達に来てもらい、いろいろなプロジェクトと一緒にやっていただいております。そこに利用者の方が集まり、加わっていただくことで交流や連携が生まれていく。また、公民館まつりやコンサート、サークル体験フェスタなどで交流し連携していく。その連携が地域学校協働本部に繋がり、学校支援に繋がっていく。学校支援につながっていくとまたそこで教えた地域の方達が子ども達から何か学び直すという、社会教育という知の循環じゃないですけど、学び直しという学びの好循環が生まれて、それがひいては地域づくりにつながっていくと思われれます。このような活動の拠点に公民館がなっていけばいいなと感じているところです。ですから地域学校協働本部を立ち上げて学校支援をする中で地域づくりも一緒にやってしまおう、今後、公民館事業とは直接関わってこないのかも知れませんが、公民館のあり方としてそこは重要になってくるのではないかなと思っております。具体的は事業の内容については、決まってないものについては抽象的な文言になってしまいますが、分かる範囲で今後は記載させていただこうと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○田中(章)議長

公民館とはと言われると、範囲が広くて生涯学習をするところと私は学んだのですが、今の話をお聞きすると、地域に還元するということは学校へも子どもへも還元する、そうするとぐるぐる回り、すごく良いつながりになり、すこしづつ違いが出てきてるのです。その第一歩が去年から始めた地域の人達が学校へ行って何かをするということから、公民館もちよっと違ってきたなと思うのですが、そちらの方に

第一歩として入っていいのではないかと思います。自分たちだけ公民館で学んでそれで終わりというのではなくて、長年学んだものを返していく、そうすると全体が良くなっていくと思うのですが、皆さんどうお考えでしょうか。

○高田委員

私も何回かこの会議に出席し、地域学校協働づくりの図を見させていただいてもよく分からなかったのですが、この数回の会の進行と今日の話をつめて明らかに見えてきたような気がしています。議長さんが仰ったように何か変わっていくのだろうな、変わってきたなという感じがしました。公民館という場所に地元のやりたい人が集まってこれをやりますよというだけじゃなくて、学校と地域が交流していく。ただ私が一番心配しているのは、先生をお呼びしておばさん達が集まってやりたいことをやっていますけど、私たちが人様に教えられるレベルなのか、少し基準が分からなくて、教えに出ていける人とちょっとまだ無理だという人と、まだたくさんいると思います。だからレベルといいますか、質とか、受け入れられる加減とか色々あると思うので、みんながみんな出来ることではないと思います。

○田中(章)議長

完璧は無理なので、気持ちとして行って教えてあげたいと思っています。軽い気持ちで行けば行けばいいのかなと思います。

○高田委員

段々と見えて来るかもしれません。そういう意味で言うと、私は南公民館の資料4が分かりやすく、各項目で〇〇還元事業ですとか但し書きのように書いてあるので、狙いも分かるし何をやるかもとても良く分かりました。また南公民館の特徴が顕著に分かるのが、図書館や民家園に行ったりだとか、ボーイスカウトに入ってもらおうとか、外に向けて取り組みにいこう、外に向けて発信していこう、ということがとてもはっきり分かりやすく感じられます。講師を呼んでやっているのはどこの館もやっていますが、自分から出て行ってやる感じは南公民館が一番新しいと感じています。サロンをやるとか、利用者のリクエスト講座をやるとか、すごく交流して行ったり来たり出来ているところが見えてきて新しいなと思いましたし、どんどん活発にやってほしいと思いました。以前から議長さんも言われていると思いますが、広報で公民館のポスターなどイベントや公民館活動のなどの紹介をするのですが一方的過ぎて、それも限られた場所でしかできないので、公民館が色んな所へ行って営業活動する、それが大事なことで、しかけをするのが公民館の仕事かなと思いました。

○田中(章)議長

型にはまらないで、今回の WBC によりあまり封建的な監督じゃ

なくて栗山監督のように、一人一人をやる気にさせるように、各公民館自覚を持ってもらいたいと思います。それでは次に議題(3)その他について事務局からお願いします。

○事務局

この公民館運営審議会の委員の皆様の任期が今年の6月30日まで満了となります。よってこの会議が最後となりますので、それに伴いまして皆様から一言ずつ、委員を経験された感想や今後の公民館運営に期待することなどをお願いしたいと思います。

○渡邊委員

今までは地域の皆様から協力支援をいただいて学校運営をしていましたが、やはり今後はキーワードが変わりまして地域連携協働して学校運営をしていきたいと思っています。それを踏まえまして学校を核として地域づくりと学校運営をしていきたいと思っています。

○田中（壽）委員

私は和光市婦人会の代表として出てきているのですが、今回が初めての任期でまるで分からなかったのですが、何回か会議に出ささせていただいて大体分かってきました。婦人会としては公民館で何かをやることはなかったのですが、以前はお饅頭作りをしてまして市民まつりや市民体育祭など色々なところでお饅頭を作り売らせていただいたのですが、その時は南公民館の調理室をお借りして作っていましたが。コロナの関係でそういうことも出来なくなってしまい、また皆さん高齢化してしまいなかなか作るのも大変ですし、材料も値上がりしてしまったので今までどおり売ることも出来なくなってしまったので多分もう作ることはないと思うのです。公民館を利用することもないのかなと思うのですが、個人的には坂下公民館や中央公民館に行ったりもするのですが、公民館はとても良い施設なのでこれから若い人など皆さんが利用すれば良いのにと 생각합니다。

○上原委員

新倉小PTAから参りました。私は3人娘がいるのですが、小学生、中学生、高校生とおり、みんなソフトボールをやっている、小さい時はサークル活動に参加させていただきました。今回、会議に初めて参加させていただきました、公民館にはこういう計画があり、サークルがあるのだと背景も知り凄いなと思っていました。そして先ほど中高生に向けた交流などの話では、部活動や受験などで忙しくなので実際は難しく、公民館のチラシを貼られていても目も行かないような感じですので、どうしたら忙しい人でも目が行く何かがないかなと考えていましたが思いつきませんでした。でもこれから子ども達も大きくなり落ち着いてきましたら、またサークル活動などしてみたいと思いました。

- 富澤委員                    自治会連合会から選出されて参りました。年寄りになってきますとスリッパに履き替えるのが煩わしいので、南公民館で昨年6月から土足になったのは良かったです。
- 高田委員                    中央公民館を利用させてもらっています。先日同窓会があり、田舎町ですが同級生が教育長をやっていたので、今日の内容のようなことを熱く語り合ってきたものですからこの会議では響くものがありました。小さい町の分、返って動きやすいのか、新しい事をどんどんやろうとしていて、和光市も同じ状況なのかな、楽しみだなと感じています。私も色々勉強させていただきありがとうございます。
- 柳下委員                    坂下公民館から選出されて参りました。今、私が思うのは公民館に若い人が来るには Wi-Fi がないといけないと思います。誰でも入れますから、全室で使えるようにしてほしいです。地域の方がたくさん来られるように何か考えていただきたいと思います。
- 大塩委員                    南公民館から選出されて参りました。コロナをきっかけに和光市のLINEを登録しましたら、毎日のように催し物のお知らせが入ってきて子育て世帯が対象であったり、自分が対象でなくても動いているんだなど。実際、情報にアクセスすると実感したところがありました。利用する側と運営する側とで、出来る事とか予算とか、人事の事ですとか、言うことは簡単だと思うのですが、窓口で利用者の方とよもやま話でもする中でも小さなきっかけが何かを生むこともあると実感しました。ありがとうございました。
- 鈴木委員                    公募委員で選出され、主に南公民館を利用しています。個人的にはインディアカというスポーツを体育室で行ってます。コロナ禍でもこの体育室を使用するため、千葉や栃木のメンバーが来て使用するくらい開館していたことは有難かったです。またインディアカをやるにあたり床が気持ち良かったり、窓口の対応がとてもいいので、細かいことの積み重ねですが、和光市はインディアカがやりやすい所だと思うくらい、とても感謝しております。私は第四小に6年生と4年生の子どもがおり、野球をしていて、先日の卒団のイベントを体育室でやらせていただきました。その際も思い出を映し出すモニターなどを貸していただくなど、南公民館長からお心遣いをいただきました。さらには第四小の母達が料理を調理室でやっています、コロナ禍で飲食できなくなってしまいましたが、飲食も再開できることになりましてコロナも少しづつ落ち着き明るい話題も出てきて良かったと思います。

私は週3回は公民館に通っていますし、公募委員としてやってきましたが、地域に還元するという公民館の役割をこれからも考えて、また携わっていったらいいなと思います。

○泉副議長

南公民館と中央公民館の両方を利用させていますので、私も週に2回は学ばせてもらったり、歌を歌ったりしております。去年と今年とコロナということで公運審も正常に開催されなかったこともありましたが、開催されますと皆さんの貴重なご意見をお聞きすることができまして副議長としてお礼を申し上げます。ありがとうございました。併せて各公民館の方、色々な支援をしてくださり、スムーズに大きな問題もなくこの1年間過ごしてきたと思います。公民館は学びが主体、学びから派生して仲間づくり、そして皆さんの経験から教えて、教えられた人がまた次へ教えて、世代交代をしながらいくものかなと思っています。ただ時代が色々ありますから、その時代にあった取組が必要なかなと思います。事業計画の中にも「スマホ」という言葉が出てきましたが、今や政治的にもDXという話題がありますから、デジタル活動を講座や事業に取り入れたら時代にあった形になるのかなと思います。これは小さい方から高齢者まで色々関わってきますし、マイナンバーなどは最たるもので、これからさらにデジタル化に埋没されますので、これに対する防御策なども必要になってきます。これからまた新しい公運審が出来るとは思いますが、そういったものも含めて議論していただけたら有難いかなと思います。

○田中(章)議長

公運審は本当に長い間やらせていただいて、研修会なども行かせていただいて学ばせていただきました。今回を持ちまして終わらせていただきたいと思います。皆様ありがとうございました。私が公民館を利用するきっかけとなりましたのは、夫の仕事に関係で6年間アメリカのロサンゼルスにいまして、そこではこういうことを教会でします。誰隔てなく皆さんが教会にきて慈善事業をします。そういうところが日本にはなく、結局、公民館がその役割を果たしてくれたのです。公民館に行くと色んな講座があったり、とても良い先生がいて、毎週のように、毎日違うものに興味を持ってやりまして、生涯学習は大事だと思い始めたのが公民館活動で、それから公運審に入りました。教えることは完璧じゃなくても大丈夫ですので、それで繋がっていけばいいと思います。地域と学校と公民館とが繋がって回ってれば、みんながレベルアップして仲良しになって繋がりができて、そんなに悪い子はできないと思います。ですからそういう意味で公民館はこれから変わり目だということが分かったただけでもすごいことなのかなと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。ありがと

うございました。

○事務局

田中議長、ありがとうございました。続きまして次第4連絡事項で  
ございます。今年度の和光市公民館運営審議会は終了となります。皆  
様にはご協力いただきましてありがとうございました。今後のスケジ  
ュールですが、次回の会議は7月を予定しております。皆様の任期は  
6月末で終了となりますことから、新年度に各団体や各公民館の長あ  
てに推薦依頼書を送付させていただきます。また公募委員も2名募集  
致します。詳細につきましては広報5月号等でご案内いたします。そ  
れでは閉会の挨拶を泉副議長、お願いいたします。

○泉副議長

<泉副議長あいさつ>

○事務局

本日はご多忙の中、長時間にわたりまして、貴重なご意見をいただ  
きまして誠にありがとうございました。

今回、会議の中で皆様から頂戴しましたご意見等につきましては、  
今後の公館運営の推進に反映出来るよう努力してまいりますので、ど  
うぞよろしくお願いいたします。本日はどうもありがとうございました。

議事録署名人

上原 あすか

富澤 勝